

## 令和5年度 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告

### <事業概要>

地域の関係機関と緊密に連携・調整を図りながら、夜間・休日における初期救急医療としての夜間休日救急診療所の運営、疾病の早期発見・早期治療に繋げる健診事業や健診結果を踏まえた事後支援事業を実施する健診センターの運営、また、医療従事者の安定的な確保に向けた地域医療従事者の養成を目的とした准看護高等専修学校や歯科衛生士専門学校の運営を一体的に実施し、市民の皆様の健康維持・増進を図り、安全で安心な医療を受けられる環境を提供するとともに、地域医療の発展に寄与することを目的として各事業を計画的に推進しており、令和5年度は設立から40周年の節目を迎える年となりました。

まず、夜間休日救急診療所においては、急病者の初期救急医療を主たる目的とし、宇都宮市の指定管理者として、宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもと、管理運営を行っており、令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症対策としてのドライブスルー方式による診療に加え、12月下旬より感染の疑いのある患者専用の感染対策エリアが供用開始となるなど、診療体制の充実・強化を図りました。令和5年度の患者数については、延べ21,611人、前年度比9,701人、81.5%の増となりました。

健診センターにおいては、疾病を早期に発見し、早期に治療を促すため、市内の事業所等を対象とした「事業所健診」や、市から受託している市民の皆様を対象とした「住民健診」のほか、児童・生徒を対象とした「子ども健診」等の各種健康診断の実施など市民の皆様の健康維持・増進に向けた事業を推進しております。これらの健康診断受診者の総件数については、延べ104,850件、前年度比2,045件、2.0%の増となりました。

准看護高等専修学校及び歯科衛生士専門学校においては、地域保健医療への貢献が期待される有能な人材を育成するため、教育環境や教育内容などの充実を図るとともに、新年度の入学生を確保するため、進学相談会への参加や学校見学会等を実施しました。

また、資格取得の支援及び就業支援に積極的に取り組み、地域医療の担い手として准看護師及び歯科衛生士を地域の医療機関等へ輩出いたしました。

# 1 夜間休日救急診療所部門

当診療所は、急病者の応急処置を主たる目的として、夜間や休日等の初期救急医療を確保するため、宇都宮市の指定管理者として宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもと、毎夜間と日曜祝日の昼間に診療所を開設しております。

令和5年度の診療所実施状況については、昼間診療を74日、夜間診療(準夜・深夜)を366日実施し、医科・歯科を合わせた総患者数は、前年度比9,701人増の延べ21,611人となりました。

令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類となり、自主的な取組を基本とする対応に転換することになりましたが、感染や診療の状況などを踏まえ、診療所における対応といたしましては、引き続きスマホ端末等を用いた遠隔診療やプレハブ等を活用した診療に加え、12月下旬より、医科及び歯科の施設の一部の改修を行い、感染症患者専用の対策エリアを設置し、一般の患者と感染の疑いのある患者の動線を分離するなど診療体制の充実・強化を図りながら対応しました。

また、令和6年4月施行の医師の働き方改革関連法に適切に対応し、安定的・継続的に医師の確保が可能となるよう宿直許可を取得しました。

## (1) 実施状況

### ア 診療日、診療時間、受付時間、開設日数

区分	診療科	診療日	診療時間	受付時間	開設日数
昼間	医科	日曜、祝日、国民の休日	午前9時～午後5時	午前8時30分～午前11時30分 午後0時30分～午後4時30分	74日
	歯科	旧盆(8/13～15)			
		年末年始(12/30～1/3)			
夜間	医科	毎日	午後7時30分～翌朝午前7時	午後7時～翌朝午前6時30分 午後7時～午後11時30分	366日
	歯科	毎日	午後7時30分～午前0時		

### イ スタッフ動員数

(単位：人)

区分	医師	歯科医師	薬剤師	看護師	衛生士	臨床検査技師	事務員	合計	前年度比	
									動員数	増減
昼間	220	85	175	437	100	6	410	1,433	1,339	94
準夜	799	378	479	1,674	394	—	1,500	5,224	4,595	629
深夜	732	—	366	732	—	—	366	2,196	2,190	6
合計	1,751	463	1,020	2,843	494	6	2,276	8,853	8,124	729
前年度	1,749	461	992	2,510	488	34	1,890	8,124		
増減	2	2	28	333	6	△28	386	729		

ウ 医科患者利用状況

医科における令和5年度の患者数については、前年度比9,452人、89.4%増の20,026人となりました。

新型コロナウイルス感染症は、8月と1月をピークに患者数が増加し、今年度の新型コロナウイルス感染症患者数は、2,333人となりました。

インフルエンザは、例年より流行入りの時期が早く、10月下旬に注意報発令の基準を超えるとともに、11月下旬には、5年ぶりに警報の基準を超え、年度末まで注意報レベルの流行が継続したことなどから、診療所を受診した患者数は、前年度の約5.5倍の3,062人となりました。

①医科月別受診者数

(単位：人)

区分	R5年												合計	前年度比較			
	R6年													日数	増減		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			患者数	増減率(%)	
日間	日数	6	7	4	6	7	6	6	6	6	8	6	6	74	73	1	
	患者数	304	496	227	522	745	585	487	757	1,078	1,357	720	469	7,737	3,521	4,216	119.7
	1日平均	50.7	69.4	56.8	87.0	106.4	97.5	81.2	126.2	179.7	169.6	120.0	78.2	104.6	48.2	56.4	116.8
夜間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	365	1	
	患者数	488	685	658	861	949	799	752	998	1,187	1,061	786	700	9,924	5,317	4,607	86.6
	1日平均	16.3	22.1	21.9	27.8	30.6	26.6	24.3	33.3	38.3	34.2	27.1	22.6	27.1	14.6	12.5	86.1
深夜	日数	158	194	199	230	241	227	182	171	205	230	174	154	2,366	1,736	629	36.2
	患者数	158	194	199	230	241	227	182	171	205	230	174	154	2,366	1,736	629	36.2
	1日平均	5.3	6.3	6.6	7.4	7.8	7.6	5.9	5.7	6.6	7.4	6.0	5.0	6.5	4.8	1.7	35.9
合計	950	1,365	1,084	1,613	1,935	1,611	1,421	1,926	2,470	2,648	1,680	1,323	20,026	10,574	9,452	89.4	
前年度	486	750	617	863	718	614	677	635	1,108	1,895	1,225	986	10,574				
増減	464	615	467	750	1,217	997	744	1,291	1,362	753	455	337	9,452				
増減率(%)	95.5	82.0	75.7	86.9	169.5	162.4	109.9	203.3	122.9	39.7	37.1	34.2	89.4				

②インフルエンザ患者数 (単位：人)

令和4年度	令和5年度	増減	
		増減	増減率(%)
557	3,062	2,505	449.7

③医科患者転送状況 (単位：人)

区分	帰宅	転送	合計
患者数	19,496	530	20,026
構成比	97.4%	2.6%	100%
前年度	10,211	363	10,574
増減	9,285	167	9,452
増減率(%)	90.9	46.0	89.4

## ④転送機関別内訳

(単位：人)

区分	後方2次病院					後方1.5次病院					獨協	自治	その他	合計
	済生会	NHO栃	JCHO	宇記念	NHO宇	済生会	宇記念	柴	宇東	宇第一				
転送数	272	95	59	50	3	6	2	0	1	0	18	15	9	530
構成比	51.3%	17.9%	11.1%	9.4%	0.6%	1.1%	0.4%	0.0%	0.2%	0.0%	3.4%	2.8%	1.7%	100%
前年度	188	64	33	38	6	5	0	0	1	1	11	8	8	363
増減	84	31	26	12	△3	1	2	0	0	△1	7	7	1	167
増減率(%)	44.7	48.4	78.8	31.6	△50.0	20.0	0.0	-	0.0	△100.0	63.6	87.5	12.5	46.0

※後方2次病院…重症者又は入院を必要とする患者の転送先

後方1.5次病院…重症ではないが点滴等が必要で、当所の診療時間内に診療が終了しないと判断した患者等の転送先

## ⑤感染症疑い患者診療方法別受診人数

(単位：人)

診療科目 診療方法	内科	小児科	合計
感染症対策エリア	149	695	844
コンテナ	5	28	33
スマホ端末	7,195	449	7,644
その他	107	7,213	7,320
合計	7,456	8,385	15,841
前年度	3,056	3,837	6,893
増減	4,400	4,548	8,948
増減率(%)	144.0	118.5	129.8

エ 歯科患者利用状況

歯科における令和5年度の患者数については、前年度比249人、18.6%増の1,585人となり、6月を除くすべての月で前年より増加いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響が少ない令和元年度と比較すると低い利用水準となっています。

① 歯科月別受診者数

(単位：人)

区分	R5年												合計	前年度比較			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		日数	増減	増減率(%)	
	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数					
昼間	日数	6	7	4	6	7	6	6	6	6	8	6	6	74	73	1	
	患者数	28	59	16	33	65	33	33	34	70	93	42	33	539	477	62	13.0
	1日平均	4.7	8.4	4.0	5.5	9.3	5.5	5.5	5.7	11.7	11.6	7.0	5.5	7.3	6.5	0.7	11.5
夜間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	365	1	
	患者数	92	100	81	77	104	85	83	81	112	90	80	61	1,046	859	187	21.8
	1日平均	3.1	3.2	2.7	2.5	3.4	2.8	2.7	2.7	3.6	2.9	2.8	2.0	2.9	2.4	0.5	21.4
合計	120	159	97	110	169	118	116	115	182	183	122	94	1,585	1,336	249	18.6	
前年度	84	151	99	106	110	97	89	97	173	158	90	82	1,336				
増減	36	8	△2	4	59	21	27	18	9	25	32	12	249				
増減率(%)	42.9	5.3	△2.0	3.8	53.6	21.6	30.3	18.6	5.2	15.8	35.6	14.6	18.6				

② 歯科患者転送状況 (単位：人)

区分	帰宅	転送	合計
患者数	1,570	15	1,585
構成比	99.1%	0.9%	100%
前年度	1,321	15	1,336
増減	249	0	249
増減率(%)	18.8	0.0	18.6

③ 転送機関別内訳 (単位：人)

区分	NHO栃木	獨協	自治	その他	合計
転送数	9	6	0	0	15
構成比	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100%
前年度	7	7	1	0	15
増減	2	△1	△1	0	0
増減率(%)	28.6	△14.3	△100.0	-	0.0

(2) 診療体制

市民の皆様のニーズを踏まえた初期救急としての医療サービスを提供するため、感染予防策の徹底を図るとともに、関係医療機関との連携を図りながら体制の充実・強化に努めました。

ア 医師の安定確保を目指し、派遣協力医療機関との連携を図りました。

イ 後方2次病院及び後方1.5次病院をはじめ、協力医療機関との連携を図り、患者の円滑な転送に取り組みました。

ウ 令和6年4月施行の医師の働き方改革関連法に適切に対応し、安定的・継続的に医師の確保が可能となるよう、協力をいただいている大学等と協議・調整を行い、深夜帯における宿直の許可を取得しました。

エ スタッフの配置については、適切なサービスの提供を前提として、実績や社会環境

等を踏まえ、効果的・効率的なスタッフの配置に取り組みました。

オ 医療サービス向上のため、4月、7月、11月に看護師、歯科衛生士、事務員を対象に繁忙期の診療体制の確認、緊急時の対応、感染症対策エリアでの診療等の研修を実施したほか、2月に薬剤師、看護師、歯科衛生士、事務員を対象に新しい順番待ち管理システムの導入に向けた今後の診療の流れ等について研修を2回実施しました。また、3月には薬剤師を対象とした、災害時医薬品備蓄等についてなどの研修会を開催しました。

カ より安全・安心な一次救急医療を提供するため、ホームページやチラシなどにより市民の皆様へ診療内容や受付時間・休憩時間等の適正受診に関する周知を図り、医療従事者の良好な勤務環境の整備に努めました。

キ 感染防止の徹底を図るため、PPE（個人用防護具）を装着した診療のほか、スマートフォン等を活用した遠隔診療やプレハブ・コンテナを活用し一般の患者と動線を分離した診療を実施しました。

また、医科及び歯科における施設の一部を改修し、一般患者と感染の疑いのある患者との動線が分離できるよう感染症患者専用の対策エリアを新たに設置し、12月26日から供用を開始しました。

### (3) 普及・啓発活動

市民の皆様に対し救急医療の理解と健康に対する知識の普及を図るため、以下の取り組みを実施しました。

#### ア 親子学級などにおける啓発活動

妊婦やその夫を対象に市保健センターで開催される「ママパパ学級」において、「救急医療の適正受診」に関することや、「夜間休日救急診療所の適切な利用の仕方」について市の所管課を通じて周知活動を行いました。

#### イ メディアを通じた啓発活動

ゴールデンウィーク、旧盆、年末年始における夜間休日救急診療所の利用の仕方や季節の節目における健康に関するワンポイントアドバイスをラジオで放送しました。

また、新聞折り込みにおいても、健康維持に関する啓発記事を、年2回（7月、10月）掲載しました。

#### ウ 公共機関等での啓発活動

保護者を対象に、夜間休日救急診療所の利用の仕方や症状に応じた対処法のチラシを、子育てサロンの利用者や「赤ちゃん訪問（市保健師訪問指導）」時に市の所管課を通じて配布しました。

## 2 健診センター部門

当健診センターは、市民の皆様の健康維持・増進を図るため、健診事業、健康支援事業、地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信、普及・啓発活動等を実施しております。

令和5年度は、健診事業においては、国・市との連携による健診受診活動の強化や、各事業所への働きかけのほか、ニーズ等を踏まえたサービスの拡充に努めたことなどにより、事業所健診、住民健診、子ども健診の合計は、前年度比2,045件、2.0%増の104,850件となりました。

健康支援事業においては、保健指導の他に健康教室を開催するなど、健康支援事業全体で前年度比913件、31.1%増の3,853件の実施となりました。

また、ホームページやメディアの活用、イベントへの参加、事業団建物や検診車両への横断幕等による掲示など、様々な媒体や機会を捉えた普及・啓発活動に努めるとともに、受診率の向上、経費の削減など、安定的・効率的な事業実施に向けた課題への対応について、継続的に検討を行いました。

### (1) 健診事業

#### 健診受診件数

(単位：件)

健康診断種別	令和5年度		令和4年度		増減		
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	増減	増減率(%)	
ア 事業所健診	定期健康診断	18,316	17.5	18,808	18.3	△492	△2.6
	生活習慣病予防健診	12,312	11.7	12,132	11.8	180	1.5
	人間ドック	1,796	1.7	1,694	1.6	102	6.0
	特殊健康診断	4,192	4.0	3,438	3.3	754	21.9
	結核検診	4,106	3.9	4,117	4.0	△11	△0.3
	その他の健診	2,417	2.3	2,033	2.0	384	18.9
	ストレスチェック	5,178	4.9	5,109	5.0	69	1.4
	小計	48,317	46.1	47,331	46.0	986	2.1
イ 住民健診	節目健診	2,065	2.0	2,233	2.2	△168	△7.5
	地区健診	6,284	6.0	6,785	6.6	△501	△7.4
	地区巡回健診	10,735	10.2	9,620	9.4	1,115	11.6
	乳がん検診	7,003	6.7	5,938	5.8	1,065	17.9
	子宮がん検診	5,717	5.5	5,250	5.1	467	8.9
	特定健康診断単独	0	0.0	107	0.1	△107	△100.0
	結核検診	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他の健診	37	0.0	82	0.1	△45	△54.9
小計	31,841	30.4	30,015	29.2	1,826	6.1	
ウ 子ども健診	心臓検診	13,332	12.7	13,668	13.3	△336	△2.5
	結核検診	4,549	4.3	4,309	4.2	240	5.6
	その他の健診	6,811	6.5	7,482	7.3	△671	△9.0
	小計	24,692	23.5	25,459	24.8	△767	△3.0
合計	104,850	100.0	102,805	100.0	2,045	2.0	

※構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合があります。

## ア 事業所健診

事業所健診については、引き続き感染症予防対策を図りながら実施しました。また、各事業所に対しては、定期健康診断の受診者数は減少しているものの、より詳細な健診への切り替えや、特殊健診の受診勧奨など積極的な働きかけを行ってまいりました。こうした各事業所への働きかけや周知活動の取組みにより、特殊健康診断やその他の健診においては増加傾向となり、事業所健診全体で前年度比 986 件、2.1% 増の 48,317 件となりました。

## イ 住民健診

宇都宮市から受託している住民健診については、市との連携による周知活動の強化に加え、前年度に引き続き、市民ニーズの高い総合健診や早朝健診、出前健診等を、感染症予防対策を図りながら実施しました。こうした取組みにより地区巡回健診において増加傾向となり、住民健診全体で前年度比 1,826 件、6.1% 増の 31,841 件となりました。

## ウ 子ども健診

市内の小学校 1 年生、4 年生及び中学校 1 年生の児童・生徒を対象とした主要事業の学校心臓検診は、前年度比 2.5% 減の 13,332 件となりました。また尿検査減少の影響でその他の健診が減少し、子ども健診全体では、前年度比 767 件、3.0% 減の 24,692 件となりました。

## (2) 健康支援事業

### 健康支援事業実施件数

(単位：件)

保健指導区分	令和 5 年度		令和 4 年度		増減	増減率 (%)
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)		
特定保健指導	921	23.9	834	28.4	87	10.4
その他の事後支援事業	2,932	76.1	2,106	71.6	826	39.2
合計	3,853	100.0	2,940	100.0	913	31.1

健康支援事業では、事業所健診及び住民健診において、健診日と同日に特定保健指導の初回面接実施や健康教室の回数を増やすなどの積極的な取組みにより、健康支援事業全体で前年度比 913 件増の 3,853 件の実施となりました。

## (3) 地域の健康づくりに関する情報収集・情報提供

令和 3 年度の宇都宮市集団健診における発見がん追跡調査後のデータを活用し、宇都宮市民の各がんの傾向をまとめるとともに、令和 4 年度の発見がん追跡調査を実施し、栃木県がん集検協議会精度管理部会へデータの提供を行いました。

## (4) 普及・啓発活動

### ア メディアを通じた普及・啓発活動

新聞や生活情報誌に掲載することで、健診センターの PR やがん検診等の普及・啓発を行いました。

### イ 各種健診の受診率向上への取り組み

#### ① 事業団建物及び検診車両等を利用した市民への周知

健康診断を受診する契機とするため、各種運動月間等に合わせて横断幕や掲示ボードを事業団建物及び各検診車両に掲げ、広く市民の皆様へ周知しました。



掲示期間	内 容
4月	健康診断受診勧奨
5月	禁煙
6～8月	健康診断受診勧奨
9月	がん征圧
10月	乳がん
11月	糖尿病
12月	高血圧
2月	生活習慣病予防
3月	大腸

② ピンクリボン運動月間における乳がん検診の普及啓発活動

10月のピンクリボン運動月間を利用し、健診会場において、乳がん検診PRポケットティッシュを配布し、乳がん検診のPRを行いました。

③ 宇都宮市図書館広告掲載事業への参加

宇都宮市立図書館の返却用しおりに健康診断受診勧奨の広告を掲載し、図書館利用者対象に普及啓発を行いました。

④ イベント等への参加

・ リレー・フォー・ライフへの参加

がん征圧を目指すチャリティ活動であるリレー・フォー・ライフ 2023とちぎに参加し、がん検診受診を啓発するリーフレットの配布などの啓発活動を行いました。

・ 食育フェアへの参加

第18回うつのみや食育フェアにおいて、“おやつの摂り方”についての講話や、子ども向けの“野菜のプラバンキーホルダー”作製コーナーのほか、パネル展示やリーフレットの配布などのPR活動を行いました。

・ うつのみや人づくりフォーラムへの参加

第16回うつのみや人づくりフォーラムにおいて、宮っ子健診センターを開設し、健診スタッフとしての職業体験とともに、パネル展示による健康づくりのPR活動を行いました。

・ 40周年記念グッズ等の配付

各種イベント等において、リーフレットや40周年記念グッズを配付し、各種事業や当事業団のPR活動を行いました。

ウ 保健師による健康教室

保健師や管理栄養士が事業所等に出向き、従業員を対象に保健指導や健康講座を行い、健康に関する意識向上に努めました。

エ 健康冊子の配布及びホームページでの掲載

健康に関するテーマでリーフレットを作成し、市内の事業所等に配布するとともに、事業団ホームページに掲載して広く市民に健康情報を提供しました。

※ 元気アップ通信・ヘルスアップレター

テーマ：①春に多い“うつ病”～心のバランスを整えよう

②若いうちから貯筋をしましょう

③女性のやせすぎ問題を考える

④LOX-index 検査について

オ 宇都宮ブリッツェンとのコラボによる普及啓発

自転車プロロードレースチームである宇都宮ブリッツェンが主催するイベント会場において、健康講話や健康に関する資料の配布を行いました。

(5) 信頼される健診体制の維持・向上

ア 精度管理の向上

- ・ 人間ドック学会等が主催する各種研修会等に参加し、健診スタッフ個々の資質の向上に努めました。
- ・ 日常的に使用する各種検査機器が確実に稼働し、正確なデータを確保できるよう、日々の始業点検や保守点検を徹底するなど、内部精度管理の充実に努めました。
- ・ 全国労働衛生団体連合会が主催する胸部エックス線検査、腹部超音波検査、血液検体検査の外部精度管理を受審し、「良好」の評価を得ました。

イ 安全管理の徹底

健診業務において発生するおそれのある医療事故や交通事故防止のため、「健診事故防止対策委員会」等により、リスクマネジメントを積極的に推進するとともに、より機密性の高い個人情報を取り扱う健診機関として、健診データ等の取扱管理の安全対策を徹底し、安全・安心な健診の推進に努めました。

ウ 健診システムの安定的な運用

予約業務から請求業務までを一貫して管理する新健診システムが、令和4年より可動し、適切かつ安定的な運用が可能となりました。また、システムの保守費用が大幅に削減となった他、検査機器のオンライン連携、健診データの共有などによる事務の効率化や、受診者へのサービスの維持・向上が図られました。

(6) ホームページのリニューアル

インターネット環境に生まれ育ったデジタルネイティブ世代への働きかけが、健診事業の拡充の鍵となることから、コンテンツの充実はもとより、スマホ検索を意識した画面展開や、将来に向けWebでの健診予約が可能なシステムの構築に向け、検討を行いました。

(7) 経営の安定化

健診受診率の向上や経費の削減など、安定的な事業運営のための検討を継続的に行っています。

(8) 感染症対策

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されましたが、各種健診事業を安心・安全に行うために、引き続き感染症予防対策を徹底して健診を行いました。

### 3 准看護高等専修学校部門

准看護師として地域の保健医療に貢献し得る有能な人材を育成するため、教育環境の充実や教員の資質向上を図るとともに、生徒の技術力の強化や臨地実習の指導の充実のため、効率的な教員配置などに努めました。また、少子化や看護系大学の増加による全国的な准看護学校の応募者・入学者減の傾向は続いている状況にありますが、意欲ある生徒確保を目的とした広報活動を積極的に実施したこともあり、本校においては、令和6年度生の受験者は、前年度より9名増加し27名となり、入学生は26名となりました。しかし、定員に対する学生数は、平成29年度から、連続して定員を下回る状況にあります。

#### (1) 教育実施状況

学 年	人 数 5年 4月  (人)	教育科目（座学講義）					臨地実習		教育実施 時間合計  (時間)
		基礎分野	専門基礎分野	専門分野	合 計	協 力 講師数	実 習 時 間	実 習 施 設	
		論理的 思考の 基礎 人間と 生活・ 社会	人体の仕組み と働き 栄養 薬理 疫病の成り立 ち その他	基礎看護 成人看護 老年看護 母子看護 精神看護					
(時間)	(時間)	(時間)	(時間)	(人)	(時間)	(機関)			
1年生	17	70	248	512	830	50	238	14	1,068
2年生	18	0	102	223	325		497		822
合 計	35	70	350	735	1,155	50	735	14	1,890

#### (2) 生徒確保対策の強化

ア 学校訪問、県内のハローワーク（15か所）、市・町のひとり親家庭に対する自立支援担当課及び福祉関係・生活保護担当課（25か所）の訪問をはじめ、県内の児童養護施設や母子生活支援施設所管の社会福祉法人、精神科病院（11か所）を訪問したほか、宇都宮市内の保育園への情報提供を行うとともに、子育てサロンにポスター掲示を依頼しました。

イ 学校見学会を年3回（8月休日、9月休日、11月休日）実施しました。

ウ 生徒募集について、県内の高等学校、宇都宮市内の中学校、宇都宮市医師会及び宇都宮市内の福祉施設に募集要項を配付したほか、上都賀郡市医師会附属准看護学校の令和6年度での閉校に伴う対応として、上都賀郡市医師会所属会員91か所の医療機関に生徒募集ポスターを配付しました。また、インターネットによる募集や学校ツイッターの活用、宇都宮市広報紙及びタウン情報紙への掲載などにより情報発信に取り組みました。

エ 入学金や授業料等に係る生徒の経済的負担の軽減策としての貸与・給付や返還免除などの国や県の給付金や修学資金制度について、訪問先、学校見学会参加者、来校者に向け丁寧な制度の周知に取り組みました。

オ 入学試験の試験日や、試験科目の見直しを実施したほか、新たに栃木県の「公共職業訓練長期高度人材育成コース」を受講する方を受託するなど、生徒の確保に努めました。

### (3) 教育環境の充実

ア 生徒指導、相談体制の強化を図るため、栃木県カウンセラー協会の認定カウンセラーによるカウンセリングを月 2 回実施し、生徒が健全な環境の中で勉学に励めるよう努めました。

イ 学習能力や家庭環境に問題を持つ生徒の個別相談、保護者との面談を行うとともに、個々の特性に合わせた指導を実施しました。

### (4) 教育内容の充実

専任教員の資質の向上及び教育力の強化のため栃木県看護系教員協議会主催の下記の研修に参加しました。

- ・ 夏期（8月）研修会、12月研修会

### (5) 実践活動の充実

学年間の交流を図るとともに、感性を豊かにすることを目的として、4月に校内及び宇都宮美術館において、1・2年生合同の研修を実施しました。

### (6) 地域医療機関への就業支援

ア 准看護師募集機関と生徒の希望・特性とのマッチング等を図るための相談及び指導を行うとともに、栃木県看護協会が実施する看護学生への就労指導啓発事業を利用し、同協会教育研修課長による特別講義を実施しました。

イ 就業支援を行い、2年生 13名のうち 11名が県内の医療機関に就職しました。

### (7) 生徒の状況

#### ア 1年生の状況

	人数	備考
生徒数	17	入学者 17名（受験者数 18名）
進路変更等	5	退学者 5名
進級者	12	

イ 2年生の状況

	人数	備 考
卒業生	13	
うち准看護師試験合格者	13	合格率 100%
(卒業生の進路)		
看護師学校進学者	0	
看護師学校進学兼就職者	0	
医療機関就職者	11	就職率 84.6%
就職活動中	2	
その他 進路変更等	5	退学 3名 休学 2名
合 計	18	

ウ 令和6年度入学生の募集状況

試験科目…………… 作文, 面接

	試験日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
推 薦 入 試	令和5年10月24日 (作文・面接)	0	0(0)	/
一般入試(第1回)	令和5年12月5日 (作文, 面接)	17	17(16)	
一般入試(第2回)	令和6年1月23日 (作文, 面接)	3	3(3)	
一般入試(第3回)	令和6年3月5日 (作文, 面接)	7	7(7)	
合 計		27	27(26)	1.00

※ 令和6年度入学生 26名

## 4 歯科衛生士専門学校部門

歯科衛生士として時代の要請に応える知識や技術を修得させ、口腔衛生の向上に資する有能な人材を養成するため、講師及び臨床実習指導教員との連携強化を図り指導の強化に努めるとともに、教育器材及び学校図書を整備を行うなど、教育環境の充実を図りました。また、授業計画に基づく講義や、病院、介護施設・障害者施設における実習を実施しました。3年生については、地域医療機関への就業支援を行い、歯科衛生士としての進路が決定できるよう支援しました。

学生の確保については、学生募集案内ポスターを市内の歯科医院に加え市外の歯科医院に掲示の依頼をするとともに、県内の高校や市内の中学校、JR宇都宮駅・東武宇都宮駅構内など様々な公共施設に掲示したほか、新聞広告におけるオープンキャンパスの特集掲載、宇都宮市立図書館の「図書館のしおり」への広告掲載、ホームページのリニューアルや新たに学校Instagramを開設するなど広報活動のさらなる強化に努めました。

### (1) 教育実施状況

学 年	人 数 5年4月 時点  (人)	教育科目（座学講義）					合 計  (時間)	講師数  (人)
		基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択・ 必修分野			
		英語 生物 心理学 その他  (時間)	解剖学 組織発生学 生理学 生化学 歯牙解剖学 病理学 薬理学 その他  (時間)	歯科衛生士概論 歯科臨床概論 保存修復歯内療法 歯科補綴学 歯周保存療法 口腔外科学 その他  (時間)	情報処理 社会人マナ 耳鼻科 内科 小児科  (時間)			
1年生	42	105	204	471	30	810	35	
2年生	46	30	30	105	45	210	11	
3年生	47	15	198	423	30	666	10	
合 計	135	150	432	999	105	1,686	56	

臨地実習 (施設臨床実習及び介護施設実習含む)		教 育 実 施 時 間 合 計 (時間)
実 習 時 間 (時間)	実 習 施 設 (機関)	
—	—	810
765	41	975
135		801
900	41	2,586

(2) 学生確保対策の強化

- ア 入学案内のため、推薦指定校等へ学校訪問し、資料を送付しました。
- イ オープンキャンパスを7回（7月、8月、9月）実施しました。
- ウ 栄美通信主催進学相談会のほか、栃木県内の学校等で開催される進路相談会に参加しました。
- エ 広報活動の充実を図るため、下記の取り組みを実施しました。
  - ・ 県内の歯科医院等へ学生募集ポスターを送付
  - ・ 宇都宮市内の全中学校に学生募集ポスターを送付
  - ・ 宇都宮市広報紙へ学生募集案内を掲載（10月、12月）
  - ・ インターネット及び新聞掲載による学生募集の広報
  - ・ JR宇都宮駅及び東武宇都宮駅構内等に学生募集ポスターを掲示
  - ・ 宇都宮市立図書館の「図書館のしおり」に広告を掲載
  - ・ ホームページリニューアルと学校Instagramの開設

(3) 教育環境の充実

- ア 教育実習用ファントム一式の更新や授業用プロジェクターの購入、事務用パソコンの更新など教育環境の充実を図りました。

(4) 教育内容の充実

- ア 新入学生を対象として「入学前教育プログラム」を実施し、学習習慣の維持や国家資格取得に必要な基礎学力の育成を図りました。
- イ 講師及び指導教員との円滑な連携の推進を図るため、講師・指導教員打合せ会を開催し、実習内容等について協議を行いました（参加者104名）。
- ウ 国家試験合格率の向上を図るため、国家試験特別講義や補講を実施しました。
- エ 歯科衛生士専任教員講習会の受講などにより、専任教員の資質向上を図りました。

(5) 実践活動の充実

- ア 通常の講義に加え、「病院実習における心構え」、「シャープニング」、「病院歯科における歯科衛生士の役割」等の特別講義を実施しました。
- イ 「フッ化物塗布事業」や「歯の健康教室」へ参加しました。
- ウ ㈱ナカニシ（歯科医療関連企業）の本社・工場を見学しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

- ア 歯科衛生士の資格を習得させ、地域の医療機関等へ積極的に就業させることにより地域医療従事者の提供体制の充実に努めました。
- イ 宇都宮市内に就業した成績優秀者を表彰しました。
- ウ 11月より就業支援を行い、就職希望者47名全員が就職しました。

(7) 学生の状況

- ア 1年生（第46期生）の状況

	人数	備考
学生数	42	入学者 42名（受験者数 47名）,
進路変更	3	退学者 3名
進級者	39	

イ 2年生（第45期生）の状況

	人数	備 考
学生数	46	
進路変更	1	退学者 1名
進級者	45	

ウ 3年生（第44期生）の状況

	人数	備 考
卒業生	47	
うち歯科衛生士国家試験合格者	46	合格率 97.9%
卒業生の進路		
医療機関就職者（歯科衛生士）	46	就職希望者 47名（就職率 100%）
医療機関就職者（歯科助手）	1	
就職活動中	0	
他分野進学	0	
その他	0	
合 計	47	

エ 令和6年度入学生の募集状況

試験科目…………… 国語総合、適性検査、面接

試験区分	試験日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
AO入学	令和5年 9月24日	30	27 (27)	/
推薦・特別入学	令和5年 10月12日	8	8 (7)	
一般入学(第1回)	令和6年 1月18日	11	11 (8)	
一般入学(第2回)	令和6年 2月11日	0	0 (0)	
一般入学(第3回)	令和6年 3月17日	1	1 (1)	
合 計		50	47 (43)	1.06

※ 入学定員 50名

※ AO入学（アドミッションズ・オフィスの略）

論文や面接から志願者の意欲や個性などを測り、学校が求める学生像に合った入学生を選抜する。



## 5 その他の事項

### (1) 理事会に関する事項

会議名	開催（議決） 年月日	件名
第1回 理事会定例会	令和5年 5月25日	報告第1号 職務執行状況の報告について 報告第2号 開設40周年記念事業の概要について 議案第1号 令和4年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告及び決算の承認について 議案第2号 令和5年度検診車整備補助事業補助金交付申請について 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団役員等候補者の推薦について 議案第4号 令和5年度第1回評議員会定時会の招集について
第2回 理事会臨時会	令和5年 6月12日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団常務理事の選定について
第3回 理事会臨時会 (決議の省略)	令和5年 7月20日	議案第1号 専決処分した事件の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員候補者の推薦について 議案第3号 令和5年度第2回評議員会（決議の省略）の招集について
第4回 理事会定例会	令和5年 12月25日	報告第1号 職務執行状況の報告について 議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団役員等候補者の推薦について 議案第2号 令和5年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団補正予算(第2号) 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団給与及び旅費規程の一部改正について 議案第4号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団個人情報の保護に関する法律施行規程の制定について 議案第5号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団附属宇都宮歯科衛生士専門学校臨床実習施設の変更について
第5回 理事会定例会	令和6年 3月26日	議案第1号 専決処分した事件の承認について 議案第2号 令和5年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団補正予算(第3号) 議案第3号 令和6年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業計画及び収支予算 議案第4号 令和5年度検診車整備補助事業の計画変更に係る承認申請について

### (2) 評議員会に関する事項

会議名	開催（議決） 年月日	件名
第1回 評議員会定時会	令和5年 6月12日	議案第1号 令和4年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告及び決算の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員の選任について 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団理事の選任について

第2回 評議員会臨時会 (決議の省略)	令和5年 7月28日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員の選任について
第3回 評議員会臨時会 (決議の省略)	令和6年 1月5日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員の選任について

(3) 登記事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
令和5年3月15日	宇都宮地方法務局	役員等変更登記	令和5年5月2日

(4) 栃木県知事に対する届出等に関する事項

届出年月日	事項
令和5年6月26日	事業報告等の提出
令和5年6月27日	変更の届出(役員等の変更)
令和6年3月29日	事業計画等の提出

(5) 役員等に関する事項(令和6年3月31日現在)

役職名	人数	氏名	備考
理事長	1	松本 国彦	
副理事長	1	北條 茂男	
常務理事	1	塙 雅彦	令和5年6月12日就任
理事	7	増山 哲茂	
		遠藤 秀樹	
		北條 雅人	
		高野澤 昇	
		田谷 浩行	令和5年6月12日就任
		齋藤 高藏	
神林 博明			
監事	1	大久保敦子	
評議員	11	近澤 幸嗣郎	令和5年7月28日就任
		野間 重孝	
		青木 孝	令和6年1月5日就任
		廣瀬 誠	
		酒井 典久	
		小島 泰久	令和5年6月12日就任

		杉本 育夫	
		宮崎 務	
		福田 久則	
		江田 和宏	
		青木 隆夫	令和5年6月12日就任
合 計	22		

※ 監事 佐藤行正氏におかれては、令和6年3月1日逝去されました。

(6) 職員に関する事項 (令和6年3月31日現在)

部門	職 名		課 長 学科長 主 幹	課長補佐 GL副主幹 副主幹	係長 GL主査 教務主任 主査	主 任	主任書記 主任技師	書 記 技 師	専任教員	嘱託員	合 計
	事務局長	次 長									
事務局	(1)									1	1
総務課			1		1		2				4
救急診療所			1		2					1	4
健診センター											0
事業推進課		(1)		1	1	2	6	1		2	13
健診課			1	1	9	3	3	5			22
准看護学校			(2)		1				1	2	4
歯科衛生士学校			1 (1)			1			2	2	6
合 計	0	0	4	2	14	6	11	6	3	8	54

※ 事務局長、健診センター次長、准看護学校学科長及び歯科衛生士学校学科長は嘱託員（括弧内の数字）である。

※ 事業推進課長については、健診センター次長が兼務している。